

2020年6月12日

仙台教区の皆さま

カトリック仙台教区

事務局長 小松史朗

新型コロナウイルス感染症に伴う対応について(教会活動再開に向けて)

† 在主平安

新型コロナウイルスの影響で教会活動が停滞し、4か月余りが過ぎようとしています。その間、教会活動自粛の延長をお願いして参りましたが、6月9日開催の仙台教区司祭会役員会において、教会活動再開に向けての指針(別紙)を決定いたしましたので、お知らせいたします。

今後は、教会活動再開に向けて指針を参考に、教会委員会で熟読した上で、担当の司祭チームと話し合い、準備して下さいようお願い申し上げます。なお、感染拡大防止対策を十分に講じた上で、再開に向けての準備が整いましたら、7月4日までとしていた自粛期間の前倒しも可能といたしました。しかし、十分な準備が整わない場合は、引き続き7月5日以降も自粛の延長をお願いいたします。

新型コロナウイルスのワクチンや特効薬が未だない中では、これまでの“通常”には戻れない事を覚悟しなければなりません。しかし、最も大切なことは、教会の中の信徒のいのちが守られる事であり、同時に、教会の外の方々のいのちを守ることに繋がることを心にとめる事です。教会活動の再開によって信仰の乾きが癒やされ、ともにこれからの“通常”に向けて歩んで参りましょう。

なお、近日中に、教区本部から各小教区に消毒液(希釈用)と専用ボトルのセットを送る予定です。手指消毒や、身の回り品の消毒など教会清掃時などの際に広くお使いください。追加注文等については追って後ほどお知らせいたします。小教区内で用意されている場合はそちらを優先してお使いください。

教会活動再開に向けて

7月5日（年間第14主日）から、すべてのミサ（集会祭儀）、集会、講座など、不特定多数の人々が集まる集会を行って良いことといたします。ただし、十分な感染拡大防止対策準備が整っていることが条件であり、下記の事項について徹底してください。

また、高齢者・持病をお持ちの方・集会に感染の不安がある方など、教会活動への参加自粛を希望する方は、引き続き主日のミサの義務は免除されます。

- ・マスク着用を義務づけること。（マスクを忘れた方のためにマスクの予備も常備する。）
- ・聖堂の入り口に聖水を用意しない。（不特定多数の人が手にするので）
- ・聖堂の入り口に消毒液を常備し、手指の消毒等を徹底すること。
- ・聖堂を広く使う工夫をする。聖堂につづきの部屋がある場合には、広く使う。
- ・聖堂内などは、人と人との間隔を広く取って座る。
- ・ミサ（集会）への参加信徒が多い教会は、人数制限を設け、ミサの回数を増やす工夫も考慮する。
- ・ミサ（集会）では、一同で聖歌を歌うことを控える。
- ・信徒が個々にチボリウムにホスチアを入れることを控える。
（予め、おおよその人数分のホスチアをチボリウムに入れておく）
- ・聖体拝領の際には間隔をあけて並び、ご聖体は手で拝領し、口での拝領はしない。
- ・司祭は短い説教を心掛け、ミサの時間も出来るだけ短くなるよう配慮する。
- ・ミサ以外の集まり、諸行事も、密集・密接・密閉を避け、開催する場合には、細心の注意を払って行うこと。
- ・週日のミサ、および修道院でのミサも以上の事柄に注意し行うこと。
- ・夏に向けて、換気すること（感染対策）と部屋の中を涼しく保つこと（熱中症対策）のバランスを考えること。

この通知を、それぞれの小教区で熟読し、担当司祭チームと話し合い、準備をし、ミサを開始する日までに信徒の皆さまに様々な対応を工夫して周知して下さいようお願い致します。特に外国籍信徒にも可能な限りお知らせ下さい。英語版・ベトナム語版を仙台教区のホームページに掲載します。

今回の決定は、6月9日開催の仙台教区司祭会役員会で話し合った上で決議し、仙台教区顧問会で了承を得て居ります。